



●小規模だからOK!!

4月からの新制度のもとで1ヶ月が経過しました。各事業所も県や市の役場も、改正対応でテンテコ舞だったようです。一区切りのところで、これから介護保険制度がどのようなようになっていくかをしっかり考えなければならぬと感じています。

■成果や存在価値が問われる

今回に限った話ではありませんが、各サービス事業者には、提供しているサービスの効果や価値がより問われるようになると思います。リハビリ重視の事業者にとっては、そのリハビリによって利用者様の身体機能は改善したのか?維持できたのか?明確に説明できるようにしなければなりません。私たちのような小規模事業所は、「個別の細やかな関わり」が主たる提供サービス(価値)ですから、それが利用者様の生活リズム構築・生きがい醸成・生活機能の維持向上につながっているのか?が問われます。保険というお金が投入されているわけですから、シビアに費用対効果が検証されます。

■小規模に求められること

小規模事業所では、大きな機械を導入した入浴介助や、大型車両での送迎などはできません。一方で、集団の中では提供しにくい細やかな配慮や気配りは得意分野です。認知症の利用者様にたくさんのお支をいただいているのは、小規模ならではの得意分野を大切にしてきたからだと考えています。

今回の厳しい改正により、多くの小規模事業者が撤退するだろうと予想されています。明確な役割分担のもとに地域の社会資源として重責を担っていかねばならないと感じています。

◆4月から新設の加算

既にご案内のとおり、制度改正を受けて新設の加算対象の事業所となりました。

〈認知症加算〉

基準よりも介護職を2名多く配置し、認知症ケアの専門講習を受講した職員も配置する。

〈サービス提供体制強化加算〉

介護福祉士(国家資格)を有するスタッフが1ヶ月を通じて50%以上配置されている。

■4月あれこれ

▽事業所内は変わらず盛り上がっています!
調理をみんなで取り組んだり、個別の創作をしたり、端午の節句の簡易創作に取り組んだり...いつも本当にありがとうございます。



←調理はいつものとおり「お手のモノ」
↓「あら、これはかわいい鯉のぼりだこと」



↑利用者様の手作り作品です。「こは、こういう風に...」こだわりを持って作られていました。



デイサービス若芝(小規模対応型通所介護)

住所: 三島市芝本町11-32

(三島信用金庫 本店営業部裏手)

電話: 055-983-0808 (渡部(わたなべ))

定員: 10名

営業: 月~土 (日曜・祝日・年末年始)

サービス提供時間: 9:15~16:30

〈ふじしろ/若芝 デイグループ〉

職員: 介護福祉士6名、認知症ケア専門士5名、看護師2名、社会福祉士2名、ケアマネ3名

<http://www.com-work.jp/>

◆ご利用可能情報
お気軽にご相談ください。

6月	お休みは日曜日のみです	
7月	20日(月)	祝日ですが通常営業
8月	15日(土) ~ 17日(月)	【三嶋大社のお祭り】16日(日)が通常どおりのお休みです。お祭りの影響で送迎時間等でのご協力をお願いすることがございます。

◆夏場にかけてのお休み情報

認知症を知る(十二)

● 困った時の考え方 ～行動はサイン～

認知症の方が徘徊したとき、私たちは最初に「それは問題だ」と考えてきた歴史があります。これを問題行動と呼んだわけです。困ったときに、その徘徊した人を責めて、なんでこのような厄介なことをするのだろうかと思いい、相手をコントロールすることを考えたわけです。ドアに鍵をかけたりすることは今では完全に虐待と考えられています。それが行つた歴史があつたことも事実です。

▼ 行動はサイン

行動はその人のサインです。行動によって何を伝えようとしているのか。「帰りたい」と言い始めた背景になにがあるのか？それを考えなければなりません。一時的な対処として「ウソ」をつくこともあるかもしれません。しかし、それは相手の行動を認めたことにはなりません。大切なことは、生活の質を高める方法で解決できないかを考えることです。「帰りたい」という人を無理やりとめると

いうのではなく、「ここもなかなか良い所だな」と感じてもらえるような環境づくりに努めることです。

「帰る」と言われる利用者様に納得してもらうために、ご自宅までお送りしたことがあります。家に入つてしばらくしたら「それじゃあ、仕事に行こうか」と話されて、自ら事業所に戻つてこられたということがあります。

サインを見落とさずに応えていくと、相互に伝わるものがあるのです。

(参考…「認知症の人を知る」より)

- ① それは本当に問題なのか
 - ② どうしてそれが問題なのか
 - ③ だれにとっての問題なのか
 - ④ 行動によってなにを伝えようとしているのか
 - ⑤ 生活の質を高める方法で解決できないか
- ケアの質を高めることによって人生の質を高める
QOC(quality of care) → QOL (quality of life)

食の豆知識

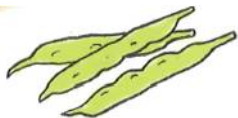
「**麦秋**(ぼくしゅう)」は**秋**?

「麦秋」は麦の穂が実つた刈入れ期で、初夏の小満のころです。「秋」には熟する、実りという意味があり、麦の収穫期からこの名が付いたそうです。



旬をいただく さやいんげん

江戸時代、中国の明国から来日した高層『隠元』によつてもたらされたとか。ビタミンB群がバランス良く含まれているのが特徴で、疲労回復、夏バテ防止にうれしい野菜です。カロテンも豊富で、視力回復や肌のかさつき改善に役立ちます。



食養生

むくみ

暴飲暴食、疲労、冷えをさけて、腎臓やリンパ系をいたわりましょう。就寝3時間前までに夕食を済ませ、水分を取り過ぎないように。

利尿作用のある小豆やハトムギ、腎機能を高める黒ゴマや海藻類は積極的にとりましょう。運動不測が原因の場合もあるので、ウォーキングもおすすめです。



おうちで手づくり らっきょう漬

手作りのおいしさは格別です。熟成が進むと餡色になり、味もしみて歯ごたえにも変化があります。甘みや赤唐辛子などでのアクセントも思いのままです。

※参考：海の精クラブ
<http://www.uminosei.com/ryohri/>

